

# 16 ロイ・スミス館

(旧大谷家住宅)



設計：清水栄二  
施工：高垣工務店  
竣工：主屋 昭和10年（1935）  
          車庫 昭和10年頃（1935頃）  
構造：主屋 木造2階建  
          車庫 木造2階建  
所在地：灘区篠原北町4丁目



六甲山南麓の眺望の良い尾根斜面に立地する、スペイン様式の住宅建築です。

設計は、御影公会堂、甲南漬資料館（旧高島家住宅）等の建築で知られる清水栄二です。

主屋の大きく張り出したポーチ、ピラスターと3連窓を配した玄関外壁、ハーフティンバーの部分採用等に工夫が見られ、室内にも当時流行した各種タイルの多用、海をモチーフにした各部屋のステンドグラス等、設計者清水栄二のモダンなセンスを随所にうかがうことができる、保存状態の良い住宅です。緑豊かな住宅地の中にあり、敷地の南側に日本庭園を配し、地域の良好な景観を形成する構成要素となっています。

